

へきけんニュース

2001年3月5日発行 第27号

北海道教育大学へき地教育研究施設
〒068-8642 岩見沢市緑が丘2丁目34番地
TEL:0126-32-0208 FAX:0126-32-025
E-mail hekiken@iwa.hokkyodai.ac.jp

紀要『へき地教育研究』第55号の発刊について

諸先生方の積極的な御協力を得て、『へき地教育研究』第55号を発刊いたしました。本誌は全教官に配付しておりませんので、御希望の先生は僻研事務局まで御連絡ください。

なお、執筆者のお名前に間違いがありました。「小規模校（複式）における子供が創り上げる図画工作の授業」を共同執筆された八雲町立浜松小学校の船橋恭二先生のお名前が、表紙・目次・執筆者紹介のページで「舟橋」となっております。ここに訂正して、深くお詫び申し上げます。

【紀要目次】

へき地小規模校における「総合的な学習の時間」実践の創出

きたのまち市立北嵐雪小学校の事例：この子たちの事実からの出発

吉田 正生・須田 康之・木谷 静香

小規模校における「総合学習」

～高学年複式学級における題材「健康と生活」～

三浦 裕・高橋 一徳・小林 禎三・片岡 繁雄

「総合的な学習の時間」に対する取り組みの状況と情報ネットワークの有効性

小路 徹・並川 寛司・渡部 英昭

総合学習へのアプローチとしての「ミニ総合学習」

長谷川美栄子

社会科授業分析カテゴリーの研究

- 小規模・中規模学校の社会科授業分析に

国語科授業指導言分析カテゴリーを適用して -

遠藤 芳信

戦後地理・地理教育を取りまくアイヌ民族記述の検討

相原 正義

学校教育におけるアイヌ民族教育の現状に関する調査

清水 敏行

小規模校（複式）における子供が創り上げる図画工作の授業

－附属函館小学校での実践の適用－
夏井 邦男・樋本 哲・澤出 博章・佐郷谷 滋・船橋 恭二
小中併置校における養護教諭の活動
－特に僻地小規模校との比較について－

津村 直子

地域の国際交流での学びとは？

－赤井川村での留学生ホームステイにおけるホストと留学生の反応から－

鈴木 潤吉

実験・観察へのコンピューター利用について

(8) 小人数のための教育方法の開発

R S -232 C 端子による基本的な計測

矢作 裕・青木 悟

平成13年度僻研研究費による僻地教育研究計画の募集について

本施設の研究費による僻地教育研究計画書を下記のように受け付けます。研究費の性格から、研究題目ならびに内容は僻地教育の分野に関連するものであること、またその成果は研究紀要『僻地教育研究』に投稿することが義務づけられています。

研究計画の申請

- * 所定の計画書は各校の代表研究員から受け取ってください。
- * 記述にあたっては、研究目的・内容を具体的にお書きください。
- * 経費は、校費（備品・消耗品・その他）のみで、「旅費・諸謝金」はありません。
- * 申請額は、個人研究が20万円以内、共同研究が30万円以内です。
- * 研究計画書（1部）は、4月20日（金）までに、各分校の代表研究員に提出してください。

研究計画の採否

- * 遅くとも、7月初旬の研究員会議で決定します。

研究成果の投稿締め切りは平成14年6月末です。（『僻地教育研究』第57号に収録）

本施設経費から研究費の配分を受けていない方からの投稿を歓迎します。その場合の締め切りは、5月末です。

平成12年度僻研研究費による僻地教育研究成果の投稿締め切りについて

昨年7月に採択された研究計画の成果の投稿締め切りは、平成13年6月末になっています。『僻地教育研究』執筆要綱に基づいて、紀要原稿提出用紙を添付の上、各分校の代表研究員に提出してください。所定の提出用紙は、各校の代表研究員から受け取ってください。

詳細は、各校の代表研究員または事務局にお問い合わせください。

